

第70期

フジテック株式会社

# 株主通信

2016年4月1日～2017年3月31日

トップインタビュー	1
主な活動概況	4
連結決算情報	7
TOPICS	9
株式の状況/企業データ	10



# 中期経営計画2年目の 計画達成を目指します

2年目を迎えた中期経営計画

“No Limits! Push Forward Together!”

計画1年目の総括と2年目の取り組みを内山高一社長に聞きました。



代表取締役社長

内山 高一

**Q** 昇降機業界における市場環境はいかがですか？

**A** 米国市場が好調です。

世界経済は一部で弱さが見受けられますものの、全般的には緩やかな回復基調にあります。そのような状況の下、世界最大の昇降機市場の中国で成長が鈍化しており、中国国内における受注競争が激化しています。一方、その他のアジア地域におきましては、堅調な需要動向です。北米では、好調な経済から大都市を中心に活発な市場環境となっています。日本におきましては、建築コストの高騰が続き、需要の伸び悩みがみられます。当社は引き続き、最大市場の中国で拡販を進めると共に、グローバル市場におけるプレゼンス向上とシェア拡大に向けた取り組みを加速していきます。

**Q** 2017年3月期の業績はいかがでしたか？

**A** 利益は計画を上回りました。

2017年3月期連結業績の営業利益、経常利益、親会社株主

に帰属する当期純利益は期初計画を上回りました。これは日本での新設・サービス事業が堅調だったこと、北米の採算性改善が寄与したことに加え、南アジアでサービス事業が伸長したためです。一方、売上高は東アジアの中国で受注が減少したことから計画を下回りました。最終的な売上高は前期比5.5%減の1,674億4,200万円、営業利益は同12.2%減の126億8,700万円、経常利益は同13.5%減の131億1,000万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同2.8%減の85億6,400万円となりました。

**Q** 計画1年目を振り返っていかがですか？

**A** ほぼ計画通りの進捗となりました。

計画に対しましては売上高がわずかに届かなかったものの、利益面は営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ計画を上回ることができました。ほぼ計画通りの業績となりましたが、東アジアで苦戦しました。この要因は中国市場における販売単価下落の影響です。中期経営計画2年目におきましては、この東アジア、特に中国の成熟化し

てきた昇降機市場への対応をどのように進めていくかが事業課題となります。

## Q 2年目の計画内容について教えてください

### A 計画達成に向けて大切な1年となります。

中期経営計画2年目の目標は売上高1,750億円、営業利益132億円、営業利益率7.5%です。最終年度の売上高2,000億円、営業利益160億円、営業利益率8%の達成に向けて、非常に大切な1年となります。新年度の数値目標を達成するために当社では、開発から生産、物流に関わる従来のサプライチェーンを見直し、グループ横断的なグローバル視点によるサプライチェーンの再構築を進めています。またグローバル機種種の拡販にも取り組み、収益の向上を目指します。

## 中期経営計画進捗状況



# No Limits! Push Forward Together!

**FUJITEC**

中期経営計画 2016～2018年度

行動ビジョン

1. 市場ニーズを捉えたシェアアップ
2. 商品統一による市場競争力の強化
3. 全社調達革新とグローバル設計ネットワークの構築
4. 経営品質の向上

## トップインタビュー

### 株主の皆様へメッセージをどうぞ

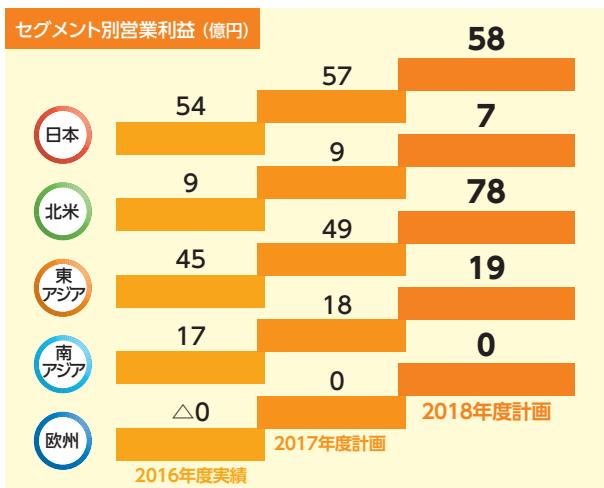
当2017年3月期の通期連結業績は利益面におきまして期中計画を上回ることができました。この業績を反映いたしまして、1株当たりの年間配当金は前年実績水準の30円といたしました。これも、皆様方のご高配によるものです。心より御礼申し上げます。

中期経営計画“**No Limits! Push Forward Together!**”の2年目となる次期の配当金は当社創業70周年の記念配当5円を年間普通配当30円に加え、1株当たり年間配当35円を予定しております。皆様方には引き続きのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 1株当たりの配当金と配当性向(連結)の推移



### 中期経営計画進捗状況 \*数値は調整前の数字です。



## Cover Story GINZA SIX (ギンザ シックス) 東京都中央区

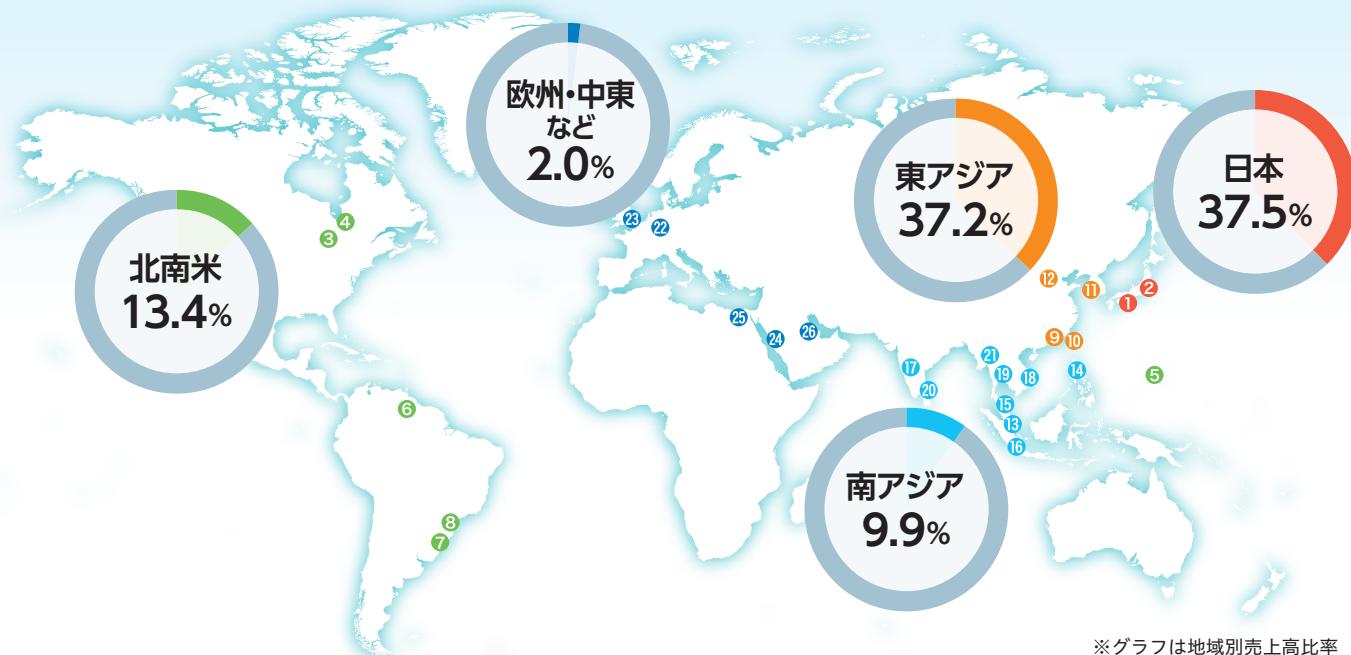
銀座の新たなランドマーク“GINZA SIX”。

外観のファサードは人々を迎えるのにふさわしい「ひさし」と「のれん」をイメージしたデザインになっています。

## 主な活動概況

# 世界に広がるフジテック

エレベータやエスカレータなどの空間移動システムは、都市機能の集積に欠かせない社会インフラとして存在感をさらに強めています。当社は、こうしたグローバルニーズにいち早く対応し、積極的な海外活動を展開しています。



※グラフは地域別売上高比率

## フジテック・グループ

日本	① 本社 ビッグウイング	滋賀県彦根市宮田町591番地1 TEL(0749)30-7111
	② 東京本社	東京都港区三田3丁目9-6 TEL(03)4330-8200

北米	③ アメリカ	FUJITEC AMERICA, INC.
	④ カナダ	FUJITEC CANADA, INC.
	⑤ グアム	FUJITEC PACIFIC, INC.

南米	⑥ ベネズエラ	FUJITEC VENEZUELA C.A.
	⑦ アルゼンチン	FUJITEC ARGENTINA S.A.
	⑧ ウルグアイ	FUJITEC URUGUAY S.A.

東アジア	⑨ 香港	FUJITEC (HK) CO., LTD.
	⑩ 台湾	富士達股份有限公司
	⑪ 韓国	FUJITEC KOREA CO., LTD.
	⑫ 中国	華昇富士達電梯有限公司 上海華昇富士達扶梯有限公司 富士達電梯配件(上海)有限公司 上海富士達電梯研発有限公司

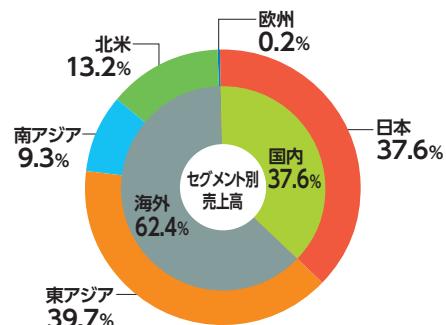
南アジア	⑬ シンガポール	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD.
	⑭ フィリピン	FUJITEC, INC.
	⑮ マレーシア	FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD.
	⑯ インドネシア	P.T. FUJITEC INDONESIA
	⑰ インド	FUJITEC INDIA PRIVATE LTD.
	⑱ ベトナム	FUJITEC VIETNAM CO., LTD.
	⑲ タイ	FUJITEC (THAILAND) CO., LTD.
	⑳ スリランカ	FUJITEC LANKA(PRIVATE) LTD.
	㉑ ミャンマー	FUJITEC MYANMAR CO., LTD.

欧州・中東	㉒ ドイツ	FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH
	㉓ イギリス	FUJITEC UK LTD.
	㉔ サウジアラビア	FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.
	㉕ エジプト	FUJITEC EGYPT CO., LTD.
	㉖ アラブ首長国連邦	FUJITEC CO., LTD. UAE(DUBAI)OFFICE

2017年3月31日現在

# 時代の先ゆく品質をお客様へ

都市の成熟に伴い、さまざまなニーズが高まるエレベータとエスカレータ。フジテックはお客様の求める“安全・安心”と“快適性”を追求し、時代の一步先ゆく品質をご提供していきます。



## 日本

東京都内では銀座の大型複合施設“GINZA SIX（ギンザ シックス）”にエレベータ・エスカレータ計84台を納入。神奈川県温泉地として有名な湯河原では会員制リゾートホテル“エクシブ湯河原離宮”にエレベータ16台を納入しました。大阪府では地上39階建の高層住宅“グランドメゾン新梅田タワー”の高速エレベータを受注しました。



エクシブ湯河原離宮(神奈川)



## 北南米

米国ダラスでは複合施設“シティプレイス・タワー”のエレベータモダニゼーション工事30台を受注。サンタモニカでもオフィス施設“ウォーター・ガーデン”のエレベータモダニゼーション工事22台も受注しました。カナダのバンクーバーでは、公共交通機関“エバーグリーン・ライン”の駅舎向けにエレベータ・エスカレータ計45台を納入しました。



ウォーター・ガーデン(米国)



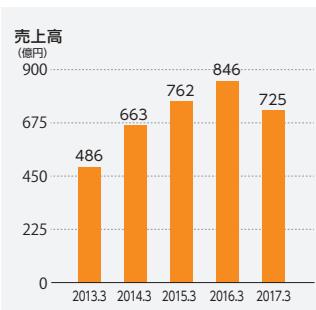
※数字は北米のみ。

## 東アジア

香港では、高級レジデンス“コリンシア・バイ・ザ・シー”にエレベータ・エスカレータ計20台を納入。中国・北京近郊の廊坊では、住宅施設“華夏大運河孔雀城”向けエレベータ185台を受注しました。また、韓国のソウルでは、“文来オフィスビル”のエレベータ・エスカレータ計34台を受注しました。



文来オフィスビル(韓国)

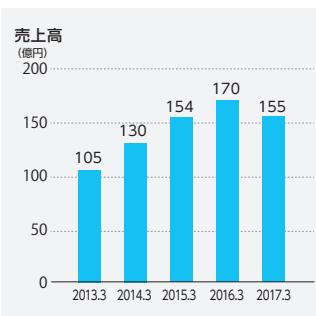


## 南アジア

インドネシアの南ジャカルタでは、レジデンスと商業施設で構成される“シネレ・テラッセ・スイーツ”のエレベータ・エスカレータ計16台を受注。マレーシアのクアラルンプールでは、オフィス・商業施設から成る“プラザ・アルカディア”にエスカレータ26台を納入しました。



プラザ・アルカディア(マレーシア)



## 欧州・中東

アラブ首長国連邦のドバイでは、ヤシの木をかたどった人工島、パームジュメーラに建設される高級ホテル“クレセントホテル”のエレベータ・エスカレータ計15台を受注。また、サウジアラビアのジェッダでは、大型商業施設“オアシスモール”のエレベータ・エスカレータ計11台を受注しました。



クレセントホテル(ドバイ)

※売上高のグラフ数値は、調整前の金額です。

# 連結決算情報

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2016年3月31日現在	2017年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	123,304	123,038
固定資産	48,567	49,969
有形固定資産	33,828	34,495
無形固定資産	4,063	3,893
投資その他の資産	10,674	11,580
資産合計	171,872	173,007
<b>負債の部</b>		
流動負債	66,981	64,103
固定負債	4,484	5,057
負債合計	71,465	69,160
<b>純資産の部</b>		
株主資本	93,564	99,857
その他の包括利益累計額	△ 4,845	△ 7,293
新株予約権	61	61
非支配株主持分	11,626	11,222
純資産合計	100,406	103,847
負債・純資産合計	171,872	173,007

### ポイント 1 資産合計

資産合計は、前連結会計年度末比11億3,500万円増加しました。これは主に「固定資産」が同14億200万円増加したことによるものです。

### ポイント 2 流動負債

流動負債は、前連結会計年度末比28億7,800万円減少しました。これは「支払手形及び買掛金」と「電子記録債務」が増加した一方、「短期借入金」が同36億3,000万円減少したことによるものです。

### ポイント 3 株主資本

株主資本は、前連結会計年度末比62億9,200万円増加しました。これは「利益剰余金」が同61億3,300万円増加したことによるものです。

### 総資産・純資産



### 営業利益・営業利益率



### 親会社株主に帰属する当期純利益・自己資本当期純利益率(ROE)



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2016年3月期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	2017年3月期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
売上高	177,128	167,442
売上原価	137,879	130,578
売上総利益	39,249	36,864
販売費及び一般管理費	24,800	24,177
営業利益	14,449	12,687
営業外収益	1,711	1,361
営業外費用	998	938
経常利益	15,162	13,110
特別利益	35	13
特別損失	161	68
税金等調整前当期純利益	15,036	13,055
法人税、住民税及び事業税	4,159	3,517
法人税等調整額	84	△ 383
当期純利益	10,792	9,921
非支配株主に帰属する当期純利益	1,985	1,356
親会社株主に帰属する当期純利益	8,807	8,564

### ポイント 1 売上高

売上高は前期比96億8,600万円減少しました。これは主に東アジアが減収となったことによるものです。

### ポイント 2 営業利益

営業利益は前期比17億6,200万円減少しました。これは、日本、北米、南アジアが増益となった一方、東アジアの営業利益が同29億6,000万円減少したことによるものです。

### ポイント 3 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比2億4,200万円減少しました。これは「税金等調整前当期純利益」の減少によるものです。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2016年3月期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	2017年3月期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,932	14,360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,319	△ 6,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,532	△ 6,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 865	△ 1,569
現金及び現金同等物の増減額	△ 8,784	△ 923
現金及び現金同等物の期首残高	30,602	21,833
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	15	—
現金及び現金同等物の期末残高	21,833	20,910

### ポイント キャッシュ・フロー

フリーキャッシュ・フローは前連結会計年度末比37億9,000万円増加しました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローが同54億2,700万円増加したことによるものです。

▶▶▶ 詳細は当社 HP をご覧ください。[フジテック IR](http://www.fujitec.co.jp/ir)  <http://www.fujitec.co.jp/ir>

# TOPICS

## ●台湾の新竹工場が本格稼働

フジテック・台湾の新竹工場がリニューアル工事を終え、本格稼働を開始しました。新たにモダンゼーション機器のグローバル供給拠点の役割を担い、国内外に向けた供給を進めています。今後は世界各国の需要を取り込みながら、モダンゼーション事業のグローバル展開を加速していきます。



## ● WING SQUARE が完成

滋賀県の本社ビッグウィング内に新研究塔「WING SQUARE（ウィング スクエア）」が完成しました。最新の研究・開発を担う同施設をフル活用し、当社はさらなる商品の研究・開発機能の強化と、商品品質の向上に取り組んでまいります。



## ●ホームページをリニューアル

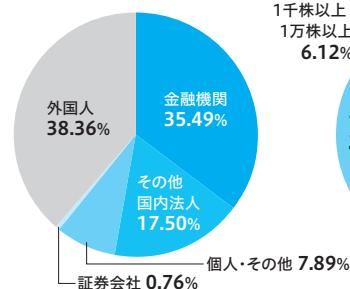
当社ホームページの内容を一新しました。画面表示はスマートフォンやタブレットといったモバイルデバイスにも対応。さらに、過去の納入実績の紹介では、新たに検索機能を設け、詳細な条件からニーズにあった実績を絞り込むことが可能となりました。また、昇降機の設計に必要な資料を一元的に取り揃えるなど、ユーザビリティの向上を図りました。



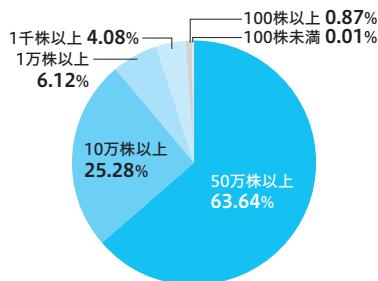
# 株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行済株式の総数	93,767,317株
株主数	5,455名
上場証券取引所	東京証券取引所

## ■所有者分布状況



## ■所有株数別分布状況



## ■大株主一覧

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
1. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	65,640	8.10
2. ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー・レギュラー・アカウント	41,523	5.12
3. 株式会社りそな銀行	40,516	5.00
4. ジェーピー・モルガン・チェース・バンク 385632	35,858	4.42
5. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	34,487	4.25
6. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	31,173	3.85
7. 富士電機株式会社	28,892	3.56
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	28,428	3.51
9. CGMI CUSTOMER ACCOUNT (418)	23,604	2.91
10. FCP SEXTANT AUTOUR DU MONDE	20,000	2.47

(注1) 持株比率は2017年3月31日現在の発行済株式総数である93,767,317株から自己株式12,706,703株を除いた81,060,614株を基準に計算しています。

(注2) 当社は自己株式12,706,703株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含まれていません。

# 企業データ

## ■会社の概況

設立	1948年2月9日
資本金	125億3,393万円 (2017年3月31日現在)
本社 ビッグウイング	滋賀県彦根市宮田町591番地1
	TEL (0749) 30-7111
東京本社	東京都港区三田3丁目9-6
	TEL (03) 4330-8200

## ■役員

取締役	代表取締役社長	内山 高一
	取締役	岡田 隆夫
		加藤 義一
		浅野 隆史
		花川 泰雄
監査役	常勤監査役	井上 治男
		石川 賢一
	監査役	中野 正信
		池田 辰夫
		杉田 伸樹
執行役員	執行役員社長	内山 高一*
	専務執行役員	岡田 隆夫*
		加藤 義一*
		浅野 隆史*
	常務執行役員	津山 圭二
		奥田 勝次
		宇都宮 靖雄
		原田 政佳
		土畑 雅志
		友岡 賢二
	梶田 順司	
	内山 泰行	
	筒井 邦彦	
	伊豆原 久男	
	荒木 麻美	
	木村 靖彦	
	中山 忠久	
	丸山 博司	

\*は取締役を兼務しています。(2017年6月22日現在)

## 株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。  
ホームページアドレス <http://www.fujitec.co.jp/koukoku/>
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

## 軽減税率廃止に関するご案内

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%・住民税3%)は廃止され、本来の税率20%(所得税15%・住民税5%)になりました。

「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」の施行に伴い、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に支払われる配当金につきましては、その所得税額に2.1%を乗じた額が「復興特別所得税」として追加課税されています。

### 個人株主様への配当金に対する源泉徴収税率

	所得税	復興特別所得税	住民税	合計
2014年1月1日～2037年12月31日	15%	0.315%*	5%	20.315%
2038年1月1日～	15%	—	5%	20%

※15%×復興特別所得税率2.1%=0.315%

#### ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。

確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。